

ITレガシー問題 対策プロジェクト 2026

日経BP 総合研究所

日経 XTECH

本企画のポイント

「2025年の崖」提唱からはや約8年、いよいよ対策が急務となるレガシーマイグレーション。しかし、ユーザー企業の多くは、まだ対応が追いついていないのが実情です。

⇒そこで本プロジェクトでは、

- 「ITレガシー問題対策フォーラム」 ※日経クロステックNEXT内 @大阪／東京
- 「ITレガシー総集編」 @オンライン
- 「Japan DX/AI Conference内 ITレガシーセッション」 @全国6都市
- 「ITモダナイゼーションSummit」 @オンライン
- 特集テーマサイト「ITレガシー問題を乗り越えろ(仮)」 ※日経クロステックSpecial内

上記の施策を「ITレガシー問題対策プロジェクト2026」として実施します。

都市部および地方の潜在顧客に、年間を通じて効果的にリーチできる企画です。ぜひご協賛をご検討ください。



プロジェクト全体のスケジュール

2026年1月～3月

4月～6月

7月～9月

10月～12月

レガシー関連
セミナー

※満杯御礼※

ITモダナイゼーション

場所：オンライン
開催：4月15日 or 16日

Japan DX/AI conference

場所：札幌、名古屋、高松、広島、福岡、那覇
開催：6月～9月

ITレガシー問題
対策フォーラム

ITレガシー@大阪

場所：グランフロント大阪
開催：6月11日 or 12日

ITレガシー@東京

場所：東京国際フォーラム開
開催：9月末

ITレガシー総集編

場所：オンライン
開催：11月下旬予定

テーマサイト

講演レビュー記事




時期：12月頭予定

都市部および地方の潜在顧客に、年間を通じて効果的にリーチできます

企画概要

企画概要

本プロジェクトは、「レガシー関連セミナー」・「レガシーフォーラム」・「特集サイト」で構成します。

- ✓ DXやモダナイゼーションに関するセミナーへのご登壇 
- ✓ ITレガシーに焦点を当てたフォーラムへのご登壇 
- ✓ 集客した事前登録者リストのご提供（アプリやハードのレガシー問題に直面している、企業の担当者等を集客）
- ✓ 関連する記事をまとめて掲載する特集サイトでの、フォーラムのレビュー記事・タイアップ記事掲載 
- ✓ 講演動画の二次利用

これらが含まれた、ITレガシー問題に関する総合的なパッケージプランです。



<レガシー関連のセミナー告知ページイメージ>

<ITレガシーのフォーラム告知ページイメージ>

<ITレガシーのテーマサイトイメージ>

企画詳細 「特集サイト」 実施概要

- ✓ テーマサイトは、「編集記事」と、「フォーラムレビュー記事」/「タイアップ記事」で構成します。
- ✓ レガシー問題、COBOL等に関連する編集記事と並んで、
貴社の実績や技術、ビジョンなどを紹介する「タイアップ記事」を掲載します
(※セミナー講演を補完する内容など、レガシー関連の内容を取材して執筆するオプションプランです)



パートナー協賛メニュー

協賛メニュー		DIAMOND	PLATINUM	GOLD	SILVER	BRONZE
		1000万円	800万円	600万円	400万円	300万円
モダナイ	ITモダナイゼーションSummit (4月15日or16日) 協賛 (講演30分+講演10分) ※満枠のため、当ページ下部記載の代替プランをお選びください※	●	●	●	-	-
地方	Japan DX/AI conference (講演10分+BP総研との合同対談+60-150件/1都市あたりのリスト提供) <small>都市選択式</small>	6都市	2都市	-	-	-
ITレガシー	日経クロステックNEXT大阪or東京でのITレガシー問題対策フォーラム (講演30分:80名会場+リストはオンラインと合わせて300件提供) <small>都市選択式</small>	●	●	●	●	●
	ITレガシー総集編@オンライン (クロステックNEXTで講演を収録し、その動画を放送)	●	●	●	●	●
	レビュー記事内での掲載 (貴社講演内容のポイント要約) @ITレガシー特設サイト	●	●	●	●	●
	ITレガシー問題対策フォーラムでのパネルディスカッション登壇 (※東京会場で実施)	●	●	●	●	-
	講演動画の二次利用	●	●	●	-	-

共通

※貴社講演の視聴フラグは、オプション料金5万円（ネット、税別）にて追加いただけます。

※Japan DX/AI conferenceの個別企画書：別途用意がありますので[こちら](#)をご覧ください。

※ITモダナイゼーションSummitの個別企画書：別途用意がありますので[こちら](#)をご覧ください。

※ITレガシー問題対策フォーラムにおけるリスト提供の内訳(リアル/オンライン比率)は弊社に一任いただけます。

※キャンセル規定について：協賛のお申し込み後、もしくは、セミナー事務局から開催準備のご案内をお送りして以降に協賛を取り消される場合は、協賛料金の全額を解約料として申し受けます。

Japan DX/AIの都市追加

Japan DX/AI追加

ITモダナイと
講演動画二次利用
追加

パネルディスカッション追加

★ITモダナイゼーションSummit満枠に伴う代替プラン (ご選択ください) ★

A. 「日経クロステック」タイアップ+日経クロステックActiveでのWP掲載 (ノンセグメントでリード100件獲得保証)

B. 追加料金+50万円で、雑誌「日経コンピュータ」にタイアップ掲載

C. 追加料金+130万円で、雑誌「日経コンピュータ」&web「日経クロステック」にタイアップ掲載

D. その他、ご希望があれば柔軟にご対応可能ですので、お気軽にご相談ください

※タイアップは定型フォーマットです。Webの場合はITレガシー特設サイトに記事を掲載し、日経クロステックから誘導いたします。想定PV：1000～2000PV

「ITレガシー問題 対策フォーラム」概要



「ITレガシー問題対策フォーラム」開催概要

- 名称 : ITレガシー問題対策フォーラム
- 会期 : **2026年6月11日or12日** 13:00～17:00 (予定) ※リアル@大阪開催の会期
2026年9月29日or30日 13:00～17:00 (予定) ※リアル@東京開催の会期
2026年11月下旬 13:00～17:00 (予定) ※オンライン開催の会期
- 形式 : 日経クロステックNEXT大阪・東京会場内でのリアルセミナー
+ 上記で収録した動画をオンライン配信
- 主催 : 日経BP 総合研究所
- 協力 : 日経クロステック
- 受講料 : 無料 (事前登録制)
- 受講対象 : 経営者、企業の情報システム部門や経営部門の企画担当者、
運用担当者、情報システム子会社、ユーザー企業に常駐しているSIerほか



「ITレガシー問題対策フォーラム」プログラムイメージ

<主催者講演や事例講演の内容案>

- ①COBOL/アプリ問題 COBOLやオフコン向け言語など、旧式言語で書かれたアプリの問題と対策について議論します
- ②オフコン/メインフレーム問題 サポート切れや生産撤退の問題とその解決策などを議論します

時間	内容
13:00-13:30	主催者講演：日経BP総合研究所
13:35-14:05	協賛パートナー講演①
14:10-14:40	協賛パートナー講演②
14:45-15:15	事例講演：ユーザー企業
15:20-15:50	協賛パートナー講演③
15:55-16:25	協賛パートナー講演④
16:30-17:20	特別パネルディスカッション： 有識者、日経BP総合研究所、協賛パートナー（DIAMOND）



Japan DX/AI conference 概要

「Japan DX/AI conference」開催概要

開催概要

- 名称 : Japan DX/AI Conference (JDAC)
- 開催場所 : 札幌・名古屋・高松・広島・福岡・那覇
- 期間 : 2026年6月～2026年9月（各都市の開催日程は次ページに記載）
- 時間帯 : 10:00-18:15（予定）
- 主催 : 日経クロステック
- 登録者数 : 60名～150名（各都市の開催日程は次ページに記載）
- 受講料 : 無料（事前登録制）
- 参加対象 :
- ・ビジネスリーダー（企業の経営層、LOB、経営企画、営業/マーケティング、人事/総務/経理/財務、情報システム部門の管理職、担当者など）
 - ・技術者・開発者
 - ・研究者・アカデミア
 - ・DXおよびAIに興味を持つ企業・組織のメンバー

「Japan DX/AI conference」開催都市

開催日程

Japan DX/AI Conference

	都市	日程	登録者数	来場予定者数	会場
1	高松	6月17日(水)	80	50	TKP高松カンファレンスセンター
2	那覇	6月26日(金)	60	40	那覇商工会議所
3	広島	7月10日(金)	80	50	TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前
4	福岡	7月23日(木)	150	100	リファレンス駅東ビル
5	札幌	8月21日(金)	100	60	TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通
6	名古屋	9月4日(金)	150	100	TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前

※開始日程については、変更となる可能性があります。予めご了承ください。

【展示会】

都市	会期	来場予定者数	会場
大阪	6/11(木) ~12(金)	3,500名	グランフロント大阪
東京	9/29(火) ~30(水)	10,000名	東京国際フォーラム

※本展示会の情報が必要な場合は別途、お問い合わせください。



「Japan DX/AI conference」 プログラムイメージ

開始	終了	所要時間	プログラム
9:15	9:45	0:30	開場
9:50	10:30	0:40	基調講演（主催者）
10:35	11:05	0:30	協賛講演
11:10	11:40	0:30	協賛講演
11:45	12:15	0:30	協賛講演
12:20	13:10	0:50	休憩
13:15	14:25	1:10	2026年特別企画（レガシー対策）
14:30	15:00	0:30	協賛講演
15:05	15:35	0:30	協賛講演
15:40	15:55	0:15	休憩
16:00	16:30	0:30	協賛講演
16:35	17:05	0:30	協賛講演
17:10	17:50	0:40	特別講演（主催者）
17:55	18:15	0:20	終了

1社あたり約10分講演
 (※ご協賛社数に応じて
 調整させていただきます)
 + 日経BP総研 大和田との
 合同対談

ITモダナイゼーションSummit 概要



「ITモダナイゼーションSummit」開催概要

※満杯御礼※

- 名称：ITモダナイゼーションSummit web live 2026
- 会期：2026年4月15日(水)、16日(木)
- 形式：オンラインでのLive配信セミナー ※配信場所は白金高輪スタジオ
- 主催：日経クロステック
- 受講料：無料（事前登録制）
- 規模：全体事前登録600名想定
- 受講対象：企業における情報システム部門や経営部門の企画担当者、運用担当者、
情報システム子会社、ユーザー企業に常駐しているSIerほか

2日間のうちいずれかの講演枠（30分）でご講演いただきます。
※ITレガシー問題プロジェクトのご協賛有無は、
視聴者からはわからない仕様ですのでご了承ください

「ITモダナイゼーションSummit」プログラムイメージ

※満杯御礼※

●7つのタグとセッション構成イメージ

それぞれのセッションに **リライト** でタグ付けを行います。

ITモダナイゼーションSummit Web Live 2026

4月15日(水)		4月16日(木)	
12:45-13:15	主催者講演 リプラットフォーム	12:45-13:15	主催者講演 リライト リビルド
13:20-13:50	協賛者講演① ラッピング リプラットフォーム	13:20-13:50	協賛者講演① リブレース リホスト
14:00-14:30	協賛者講演② リライト リホスト	14:00-14:30	協賛者講演② リブレース
14:40-15:10	協賛社講演③ リブレース	14:40-15:10	協賛社講演③ リブレース
15:20-15:50	協賛者講演④ プログラム改善 リライト	15:20-15:50	協賛者講演④ プログラム改善
16:00-16:30	協賛者講演⑤ リプラットフォーム	16:00-16:30	協賛者講演⑤ リライト
16:40-17:10	主催者講演 リライト	16:40-17:10	主催者講演 リビルド

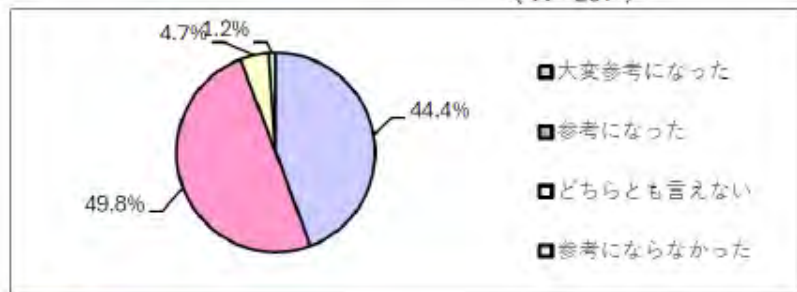
※各社様に自社の講演内容に沿ったタグをお選びいただけます。複数選択も可能です

●前回来場者アンケート

○本日のWebセミナー全体に関して、講演内容は参考になりましたか？

	件数	%
大変参考になった	114	44.4%
参考になった	128	49.8%
どちらとも言えない	12	4.7%
参考にならなかった	3	1.2%
合計	257	

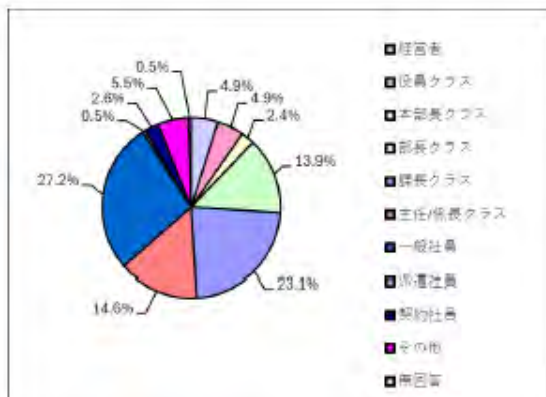
(N = 257)



○役職

	件数	%
経営者	28	4.9%
役員クラス	28	4.9%
本部長クラス	14	2.4%
部長クラス	80	13.9%
課長クラス	133	23.1%
主任/係長クラス	84	14.6%
一般社員	157	27.2%
派遣社員	3	0.5%
契約社員	15	2.6%
その他	32	5.5%
無回答	3	0.5%
合計	577	

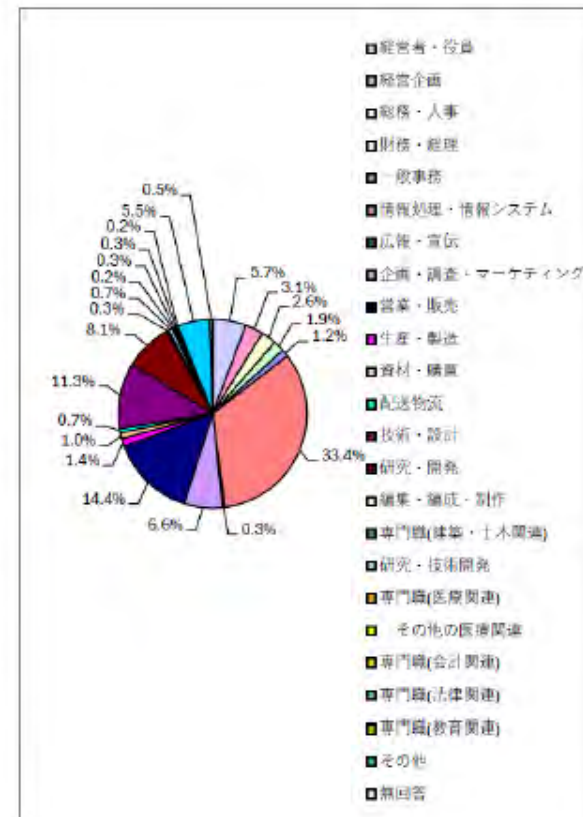
(N = 577)



○業種

	件数	%
経営者・役員	33	5.7%
経営企画	18	3.1%
総務・人事	15	2.6%
財務・経理	11	1.9%
一般事務	7	1.2%
情報処理・情報システム	193	33.4%
広報・宣伝	2	0.3%
企画・調査・マーケティング	38	6.6%
営業・販売	83	14.4%
生産・製造	8	1.4%
資材・購買	6	1.0%
配送物流	4	0.7%
技術・設計	65	11.3%
研究・開発	47	8.1%
編集・編成・制作	0	0.0%
専門職(建築・土木関連)	2	0.3%
研究・技術開発	4	0.7%
専門職(医療関連)	1	0.2%
その他の医療関連	0	0.0%
専門職(会計関連)	2	0.3%
専門職(法律関連)	2	0.3%
専門職(教育関連)	1	0.2%
その他	32	5.5%
無回答	3	0.5%
合計	577	

(N = 577)



ITモダナイゼーションSummit Web Live 2025～まだ間に合う！2025年の崖に落ちないための最新IT戦略～

過去開催実績
(2025年10月・12月開催)

2025年の開催概要

◆ ITレガシー問題対策フォーラム@東京国際フォーラム

- 2025年10月16日(金) 13時～17時半
- 日経クロステックNEXT東京（展示会）と併催の形にて、80名会場でリアル開催
- 同時に講演動画を収録 [10月集客サイト](#)
- 事前登録130名に対して述べ参加者64名

◆ ITレガシー問題対策フォーラム@オンライン

- 2025年12月5日(金) 13時～17時15分
- 収録した講演動画を特別放送 [12月集客サイト](#)
- 事前登録297名に対して述べ視聴者241名 **★歩留まり81%★**

◆ 特別企画 ITレガシー問題対策ポータル（テーマサイト）

- 12月8日(月)から、フォーラムでのレビュー記事を掲載 [ITレガシー問題対策ポータル](#)

◆ 協賛社（五十音順）

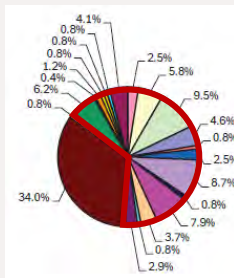
- ダイヤモンド：アクセンチュア、AMCソフトウェアジャパン（ロケットソフトウェアグループ）、システムズ
- プラチナ：COBOL PARK
- ゴールド：ハイシンクジャパン、ビヨンドソフトホールディングス



2025年開催時の事前登録者属性（オンライン開催分）

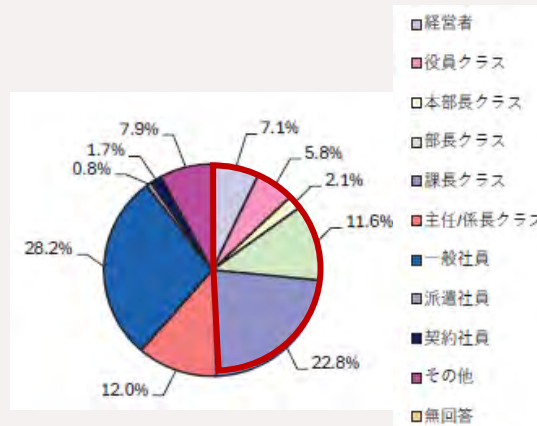
◆ 業種

- 非IT企業は、66%が参加



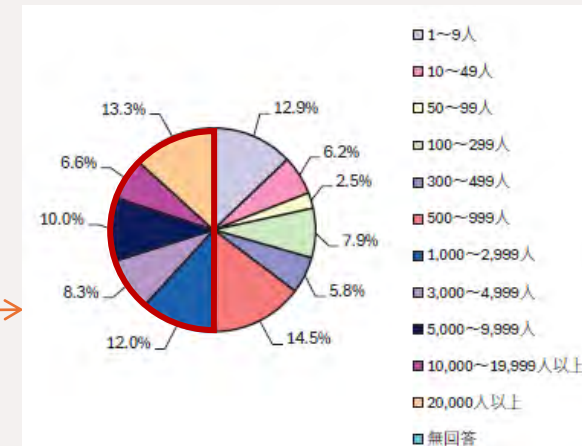
◆ 役職

- 課長以上は、49.4%



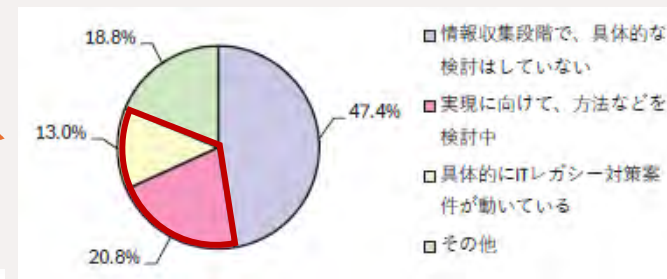
◆ 従業員数

- 1000人以上の企業勤務者は、50.2%



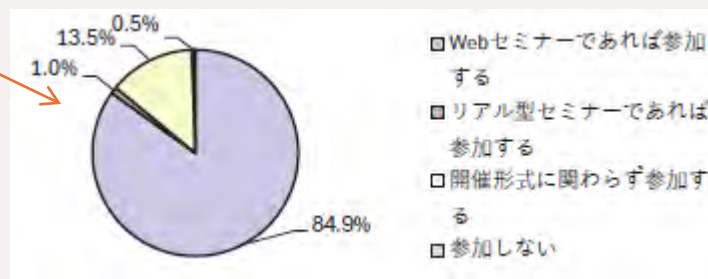
◆ レガシー対策への現状

- 具体的に検討or動き出している人は33.8%



◆ フォーラム全体の満足度

- 「大変参考になった」「参考になった」が88.5%



◆ 次回参加意向

- 参加意向のある人は95%

スケジュール

スケジュール（予定）

申込締切 **： 3月末**(大阪希望の場合)、 **7月下旬**(東京希望の場合)

ITモダナイゼーションSummit **： 4月開催**

Japan DX/AI conference **： 6-9月開催**

ITレガシープログラム決定、集客サイトオープン **： 各回開催日の1.5か月前**

リアル開催@大阪 **： 6月11日(木)or12日(金)**

リアル開催@東京 **： 9月29日(火)or30日(水)**

オンライン配信 **： 11月下旬**

セミナー登録者リスト提供 **： 各回開催日の**約5営業日後****

レビュー掲載 **： 12月上旬～**

お問い合わせ

日経BP アカウントビジネス4部 c-ad@nikkeibp.co.jp

アカウントビジネス グローバルチーム isales@nikkeibp.co.jp

個人情報取り扱いに関するルール

日経BPでは顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。
是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1.顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先（または自宅）住所」「勤務先（または自宅）電話番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

2.顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BPリードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先：日経BPリード・サポートセンター（E-mail：lgsc10@nikkeibp.co.jp）

3.顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

4.顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

5.提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます